

「2016年卒学生の就職活動の実態に関する調査」

公益社団法人全国求人情報協会は、新卒等若年雇用への社会的関心の高まりを背景に、2013年度より専門部会として「新卒等若年雇用部会」を設置し、問題整理やアクションプラン等の検討を開始しました。当部会の調査・研究活動の一環で、民間企業・団体への就職活動を経験した全国の大学4年生・大学院2年生を対象とするアンケート調査を2016年3月に実施し、その調査結果の概要をまとめましたのでご報告します。

- ①民間企業・団体への就職活動を経験した大学生/大学院生の9割が3月時点で進路確定。⇒詳細は2ページ
- ②就職先確定者への就職先の満足度は、大学生/大学院生で9割。前年よりも上昇。⇒詳細は3ページ
- ③就職活動に関する情報収集の開始時期は、「大学3年/大学院1年の10～12月」が大幅に減少し、「大学3年/大学院1年の6～9月」と「大学3年/大学院1年の1～3月」に二極化。⇒詳細は4-6ページ。
- ④大学生の就職活動ごとの活動量の平均値は、プレエントリー39.2社、企業説明会参加20.8社、書類選考14.4社、面接など対面選考10.0社。前年からプレエントリー社数が10社以上減少。⇒詳細は7-9ページ
- ⑤[プレエントリー][一次選考応募]の対象を選ぶ時に知りたい情報の上位項目は「具体的な仕事内容」「勤務地」「事業の安定性・将来性」で、6～7割が知ることができたと回答。⇒詳細は10-11ページ
- ⑥大学4年/大学院2年の9月までに就職活動を終了した者は全体の6割超で、前年とほぼ同水準。活動終了時期が遅い者や3月下旬時点の活動継続者ほど開始時期が遅く、活動期間が長い。⇒詳細は12-16ページ
- ⑦学生は、新卒労働市場の現状など日本の就職環境に関して十分な知識をもっていない。⇒詳細は17ページ
- ⑧民間の就職情報会社から提供される情報は「情報量が多いが、役立った」との評価。最も役立った情報は「民間の就職情報会社の就職情報サイトに掲載されている企業」。⇒詳細は18-21ページ
- ⑨[プレエントリー対象][一次選考応募対象][最終的な就職先]を選ぶときの情報源は、民間の就職情報会社がトップ。⇒詳細は22-24ページ

●調査の概要

- 1) 調査目的: 大学生や大学院生の就職活動の実態を把握し、関係各位の参考に供する。
- 2) 調査対象: 民間企業・団体への就職活動を在学中に経験した(*)全国の大学4年生・大学院2年生1025名 *就職活動の経験者を、プレエントリー(資料・採用情報の請求)、説明会、書類選考、対面選考のいずれか1つ以上の経験者と定義した。左記の条件を満たす973名で集計を実施
- 3) 調査時期: 2016年3月11日～28日
- 4) 調査方法: インターネット調査(調査実施機関: 株式会社マクロミル)―マクロミル社のモニターにスクリーニング調査を行って対象者を抽出し、学校種別、性別、専攻系統(文理)の構成比が母集団に近づくよう、「文部科学省学校基本調査」の数値を参照し、ウェイトバック集計を行った。

◀地域区分の内訳▶

- 関東= 東京都、千葉県、神奈川県、埼玉県、茨城県、栃木県、群馬県
- 中部= 静岡県、愛知県、岐阜県、山梨県、長野県、新潟県、富山県、石川県、福井県
- 近畿= 京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、三重県、滋賀県
- その他地域・計=「関東」「中部」「近畿」以外の地域

●調査実施主体 公益社団法人全国求人情報協会 新卒等若年雇用部会

当部会会員企業(調査実施時点、社名五十音順):

株式会社アクセスヒューマネクスト、株式会社アルバイトタイムス、株式会社イフ、株式会社学情、株式会社KG情報、株式会社廣済堂、株式会社JSコーポレーション、株式会社ジェイ・ブロード、株式会社ダイヤモンド・ヒューマンリソース、株式会社ディスコ、株式会社文化放送キャリアパートナーズ、株式会社北海道アルバイト情報社、株式会社マイナビ、株式会社リクルートキャリア

<サンプル数>

大学生	825
文系・国公立	35
文系・私立	516
理系・国公立	56
理系・私立	219
大学院生	148

※ウェイトバック集計を行っているため、サンプル数の合計と内訳が合わない場合がある。

お問い合わせ先/公益社団法人全国求人情報協会 業務部・佐藤日出男 Tel03-3288-0881 cyousa@zenkyukyo.or.jp

調査リリース資料は、こちらからダウンロードできます。 <http://www.zenkyukyo.or.jp/outline/houkoku/20160621.pdf>

公益社団法人全国求人情報協会(理事長:丹澤直紀 略称:全求協)は、1985年2月に設立。全国の有料求人情報誌・フリーペーパー・折込求人紙・求人サイトを運営・発行する65社の会員で構成されており、自主規制のための掲載基準作成、求人情報に関する苦情・相談業務や調査・研究などの活動を実施。会員の年間求人広告件数は1,304万件(2015年)にのぼる。

**①民間企業・団体への就職活動を経験した大学生/大学院生の9割が3月時点で進路を確定。
その他地域の大学生の進路確定者が8割後半と低い。**

民間企業・団体への就職活動経験者は、調査を実施した3月時点では9割が卒業後の進路を確定している。属性別にみると、大学生は大学院生に比べて進路確定者が多く、国公立大学の文系、理系大学生でその傾向が顕著である。また、居住地域別では、その他地域の大学生は関東、中部、近畿に比べて進路確定者が少ない。

2015年調査と比べると、大学生、大学院生ともに進路確定者に変化はみられないが、国公立大学の理系大学生で「民間企業・団体に就職する」が減少し、「パート、アルバイトなどの臨時的収入を目的とした仕事に就く」「留年するので、卒業しない」が増加している。また、その他地域の大学生で「民間企業・団体に就職する」が低下しており、地域間格差がみられる。(図表1)

図表1 卒業後の進路確定状況(単一回答、単位=%)

	n=	民間企業・団体に就職する	民間企業・団体以外(公務員、教員など)に就職する	就職確定者・計	起業する	大学院などへ進学する	留学する	パート、アルバイトなどの臨時的収入を目的とした仕事に就く	留年するので、卒業しない	その他	進路確定者・計	まだ進路が確定していない
大学生	825	76.5 (-0.8)	4.5 (0.8)	<u>81.1</u> <u>(0.1)</u>	- (-0.6)	6.1 (1.3)	0.3 (-0.5)	2.1 (-0.9)	3.2 (1.0)	0.6 (0.4)	<u>93.4</u> <u>(0.8)</u>	6.6 (-0.8)
文系・国公立	35	75.5 (9.9)	10.7 (-1.8)	<u>86.1</u> <u>(8.0)</u>	- (-)	11.0 (2.5)	- (-2.2)	- (-2.2)	2.9 (1.5)	- (-)	<u>100.0</u> <u>(7.6)</u>	- (-7.6)
文系・私立	516	79.6 (0.8)	5.5 (1.2)	<u>85.1</u> <u>(2.0)</u>	- (-1.0)	1.7 (0.5)	0.5 (-0.1)	2.6 (-1.8)	2.6 (0.5)	0.6 (0.3)	<u>93.0</u> <u>(0.5)</u>	7.0 (-0.5)
理系・国公立	56	55.3 (-13.0)	- (-)	<u>55.3</u> <u>(-13.0)</u>	- (-)	29.6 (4.2)	- (-6.2)	7.5 (7.5)	7.5 (7.5)	- (-)	<u>100.0</u> <u>(-)</u>	- (-)
理系・私立	219	74.9 (-2.8)	2.5 (0.8)	<u>77.4</u> <u>(-2.0)</u>	- (-)	9.6 (1.6)	- (-)	- (-0.7)	3.8 (0.6)	0.8 (0.8)	<u>91.6</u> <u>(0.3)</u>	8.4 (-0.3)
関東	380	74.7 (-1.1)	5.1 (1.8)	<u>79.8</u> <u>(0.7)</u>	- (-0.8)	5.8 (0.4)	- (-0.7)	2.9 (0.5)	4.7 (1.7)	- (-0.3)	<u>93.3</u> <u>(1.4)</u>	6.7 (-1.4)
中部	108	85.8 (11.2)	6.3 (0.3)	<u>92.1</u> <u>(11.5)</u>	- (-1.9)	1.2 (0.7)	- (-)	2.3 (-3.9)	3.9 (2.2)	0.6 (0.6)	<u>100.0</u> <u>(9.1)</u>	- (-9.1)
近畿	187	80.0 (-0.3)	1.5 (-1.3)	<u>81.5</u> <u>(-1.6)</u>	- (-)	8.2 (2.1)	1.5 (0.3)	0.7 (-1.5)	1.6 (-0.7)	0.7 (0.7)	<u>94.1</u> <u>(-0.7)</u>	5.9 (0.7)
その他	149	70.0 (-8.8)	5.7 (0.8)	<u>75.7</u> <u>(-7.9)</u>	- (-)	7.8 (4.1)	- (-1.2)	1.6 (-2.2)	1.2 (0.8)	1.8 (1.8)	<u>88.1</u> <u>(-4.6)</u>	11.9 (4.6)
大学院生	148	76.4 (1.2)	5.4 (-0.3)	<u>81.8</u> <u>(0.9)</u>	0.7 (-0.0)	3.4 (1.3)	- (-)	1.4 (-0.8)	2.0 (-1.5)	1.4 (1.4)	<u>90.5</u> <u>(1.2)</u>	9.5 (-1.2)

* カッコ内は2015年とのスコア差を掲載。

* 2015年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い黄色■、10ポイント以上低いセルを濃い水色■で網掛けした。

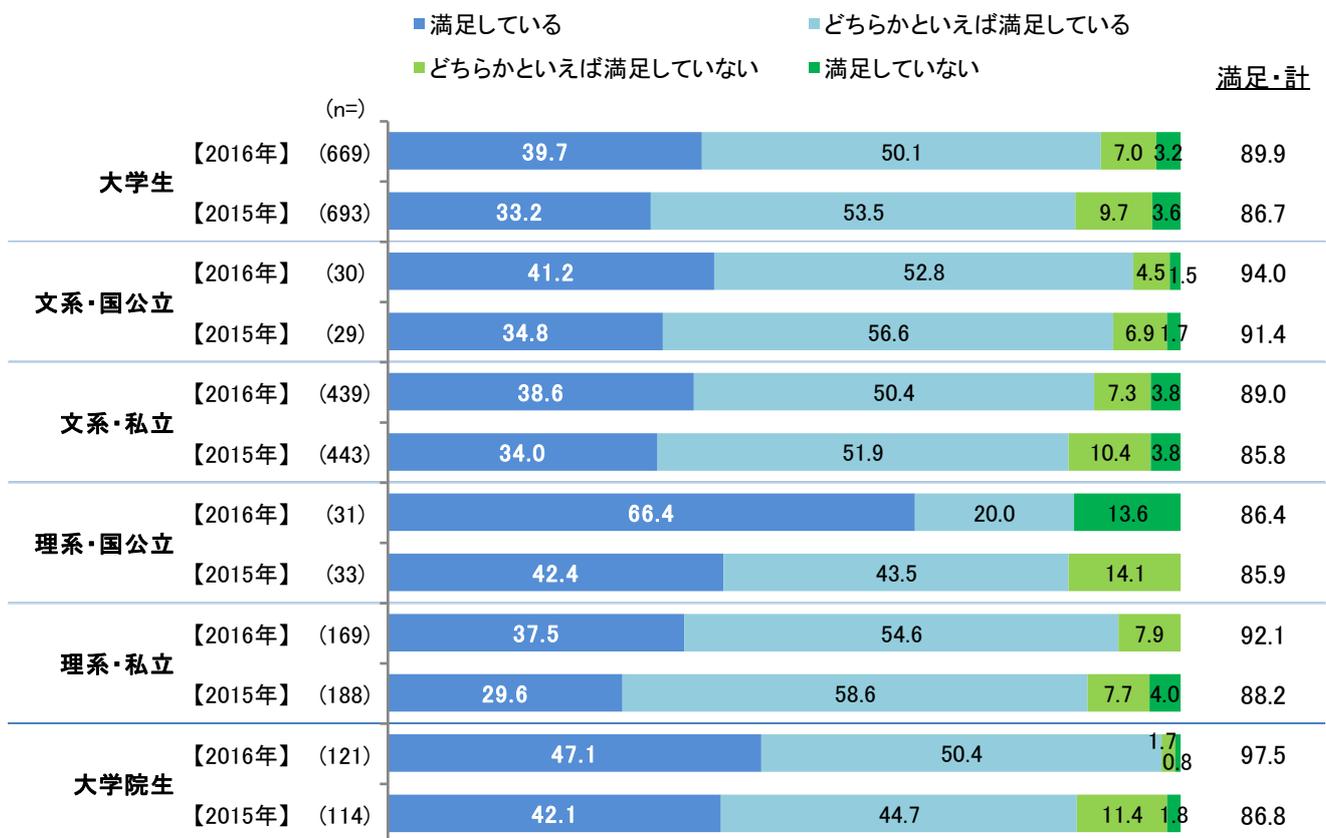
**②就職先確定者の就職先への満足度は、大学生で約9割、大学院生で9割後半。
2015年調査よりも就職先への満足度は高い。**

就職確定者の就職先への満足・計(*)は、大学生が約9割、大学院生が9割後半と、いずれの属性でも高い。そのなかで国公立大学の理系大学生は、「満足している」の割合が6割後半と突出しており、私立大学の理系大学生を約30ポイント上回っている。

2015年調査と比べると、いずれの属性でも2016年調査の満足・計が2015年を上回っている。また、「満足している」の割合も2016年調査のほうが高い。(図表2)

*「満足している」「どちらかといえば満足している」の回答者を合計

図表2 就職確定者の就職先への満足度状況(単一回答、単位=%)



③就職活動に関する情報収集の開始時期は、「大学3年/大学院1年の10～12月」が大幅に減少し、「大学3年/大学院1年の6～9月」と「大学3年/大学院1年の1～3月」に二極化。

就職活動の進め方やノウハウに関する情報収集の開始時期は、大学生・大学院生ともに「大学3年/大学院1年の6～9月頃」が最も高い。ただし、2015年調査から「大学3年/大学院1年の1～3月頃」の割合も増加しており、開始時期が二極化している。属性別にみると、国公立大学の理系大学生で「大学3年/大学院1年6～9月頃」が4割で高い一方、「大学4年/大学院2年の4月以降」も3割いることから、開始時期の二極化が顕著となっている。

プレエントリー、企業説明会の開始時期は、いずれの属性でも「大学3年/大学院1年の3月頃」が最も高くなり、2015年調査では全ての属性で最大値を示していた「大学3年/大学院1年の12月頃」の値が大きく減少している。(図表3)

図表3 就職活動の開始時期(単一回答、単位=%)

	n=	大学3年/大学院1年					大学4年/大学院2年				
		5月以前	6～9月頃	10～11月頃	12月頃	1～2月頃	3月頃	4～5月頃	6～7月頃	8月以降	
就職活動の進め方やノウハウに関する情報収集	大学生	772	14.2 (1.8)	18.5 (-1.3)	13.3 (-8.6)	8.7 (-17.5)	16.3 (10.5)	16.8 (12.3)	7.5 (3.2)	1.9 (-0.0)	2.7 (-0.2)
	文系・国公立	30	7.8 (-10.7)	27.7 (-5.5)	15.8 (-5.5)	7.4 (-3.4)	17.7 (8.7)	6.3 (6.3)	11.1 (11.1)	3.3 (3.3)	3.0 (-4.1)
	文系・私立	487	15.8 (2.2)	15.1 (-5.2)	12.4 (-5.2)	8.3 (-20.2)	16.8 (9.9)	19.2 (14.4)	8.3 (3.9)	2.5 (0.8)	1.8 (-0.6)
	理系・国公立	56	7.5 (3.4)	40.3 (20.6)	7.1 (-26.3)	- (-22.9)	7.5 (7.5)	7.5 (3.4)	15.0 (6.7)	- (-)	15.0 (7.7)
	理系・私立	199	13.1 (2.8)	19.4 (2.9)	17.0 (-13.1)	12.5 (-11.8)	17.4 (13.5)	15.3 (10.4)	2.9 (-1.0)	0.9 (-2.5)	1.5 (-1.3)
	大学院生	138	13.0 (-6.2)	22.5 (4.1)	10.9 (-13.9)	11.6 (-8.4)	17.4 (10.2)	13.0 (12.2)	5.8 (1.8)	3.6 (3.6)	2.2 (-3.4)
プレエントリー	大学生	786	4.7 (1.5)	8.3 (2.1)	3.9 (-4.6)	3.7 (-46.4)	10.1 (-4.2)	49.4 (43.6)	11.9 (5.4)	3.7 (2.0)	4.3 (0.6)
	文系・国公立	33	- (-3.7)	8.4 (2.4)	- (-16.2)	4.4 (-44.3)	25.8 (13.8)	40.2 (34.2)	17.1 (15.7)	1.3 (1.3)	2.7 (-3.3)
	文系・私立	495	5.1 (2.3)	5.4 (-0.2)	4.9 (-4.2)	4.1 (-46.3)	10.0 (-4.7)	50.9 (45.0)	13.2 (5.8)	2.9 (1.5)	3.5 (0.7)
	理系・国公立	56	- (-4.0)	37.2 (30.1)	- (-)	- (-52.5)	7.5 (-3.6)	25.7 (25.7)	3.6 (-14.6)	11.1 (11.1)	15.0 (7.9)
	理系・私立	202	5.9 (2.0)	7.4 (0.1)	3.4 (-4.4)	3.4 (-45.5)	8.4 (-5.9)	53.8 (47.1)	10.0 (6.9)	3.9 (0.9)	3.8 (-1.3)
	大学院生	140	4.3 (-0.2)	7.1 (1.9)	2.9 (-5.4)	3.6 (-49.8)	16.4 (3.6)	50.0 (45.5)	8.6 (2.6)	3.6 (2.8)	3.6 (-0.9)
企業説明会	大学生	798	4.5 (1.6)	6.1 (-0.3)	5.9 (-1.1)	3.1 (-36.8)	11.5 (-13.5)	44.3 (37.8)	15.9 (11.5)	4.8 (2.3)	3.9 (-1.6)
	文系・国公立	34	3.0 (-0.8)	8.3 (2.1)	1.3 (-12.9)	3.0 (-30.6)	21.2 (-8.2)	33.8 (33.8)	19.6 (14.3)	7.3 (7.3)	2.7 (-4.9)
	文系・私立	504	4.6 (1.8)	3.9 (-0.5)	6.2 (0.0)	3.4 (-37.9)	11.1 (-13.2)	44.6 (36.8)	17.5 (12.2)	5.1 (2.1)	3.6 (-1.3)
	理系・国公立	50	- (-)	33.3 (17.7)	8.4 (1.1)	- (-54.1)	12.4 (1.0)	24.9 (24.9)	4.0 (-0.1)	8.4 (8.4)	8.4 (1.1)
	理系・私立	211	5.6 (2.3)	4.7 (-4.7)	5.1 (-2.4)	3.2 (-32.0)	10.8 (-17.4)	49.8 (44.1)	14.4 (12.0)	2.8 (0.5)	3.6 (-2.4)
	大学院生	139	4.3 (0.5)	5.8 (2.0)	3.6 (-10.0)	3.6 (-34.3)	16.5 (-4.7)	43.2 (36.3)	13.7 (6.1)	5.8 (5.0)	3.6 (-0.9)

* カッコ内は2015年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も多い区分を太字にした。

* 2015年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い黄色■、10ポイント以上低いセルを濃い水色■で網掛けした。

就職活動の終了時期は、面接解禁日の変更もあり、大学生は「大学4年の10～3月頃」、大学院生は「大学院2年の8月頃」がピークとなっており、大学生のほうが終了時期が遅くなっている。なお、「大学4年の7月頃」までに就職活動を終了した学生の割合は、大学生で53.0% (2015年卒) から27.7% (2016年卒) に、大学院生で59.6% (2015年卒) から20.3% (2016年卒) に、いずれも大きく減少している。

属性別にみると、国公立大学の文系大学生は「大学4年の8月頃」、私立大学の文系、理系大学生は「大学4年の10～3月頃」がピークとなっており、私立大学生のほうが終了時期が遅くなっている。(図表4)

図表4 就職活動の終了時期(単一回答、単位=%)

	n=	大学3年/ 大学院1年 の3月以前	大学4年/大学院2年							活動継続中
			4月頃	5月頃	6月頃	7月頃	8月頃	9月頃	10～3月頃	
大学生	825	5.9 (-1.8)	2.2 (-11.0)	4.6 (-8.2)	5.8 (-5.1)	9.2 (0.8)	22.0 (15.6)	13.2 (7.6)	26.5 (2.8)	10.6 (-0.7)
文系・国公立	35	3.9 (-1.9)	1.3 (-27.7)	1.3 (-13.9)	8.1 (-2.6)	5.2 (-4.6)	39.3 (32.1)	12.0 (7.9)	20.3 (9.6)	8.7 (1.1)
文系・私立	516	4.4 (-2.1)	1.6 (-8.9)	2.8 (-11.3)	4.6 (-5.2)	9.4 (-0.6)	23.9 (17.4)	14.0 (8.8)	28.6 (3.0)	10.6 (-1.2)
理系・国公立	56	22.1 (6.3)	11.1 (1.4)	3.6 (-9.6)	- (-16.6)	7.5 (7.5)	7.1 (-2.5)	26.1 (16.4)	7.5 (-8.3)	15.0 (5.4)
理系・私立	219	5.6 (-3.5)	1.3 (-15.8)	9.8 (0.1)	9.9 (-2.6)	9.6 (3.7)	18.5 (13.1)	8.3 (2.4)	27.2 (4.2)	9.8 (-1.5)
大学院生	148	3.4 (-0.9)	2.7 (-20.7)	3.4 (-14.4)	6.1 (-3.8)	4.7 (0.5)	36.5 (32.9)	10.8 (4.4)	20.3 (6.1)	12.2 (-4.1)

* カッコ内は2015年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も多い区分を太字にした。

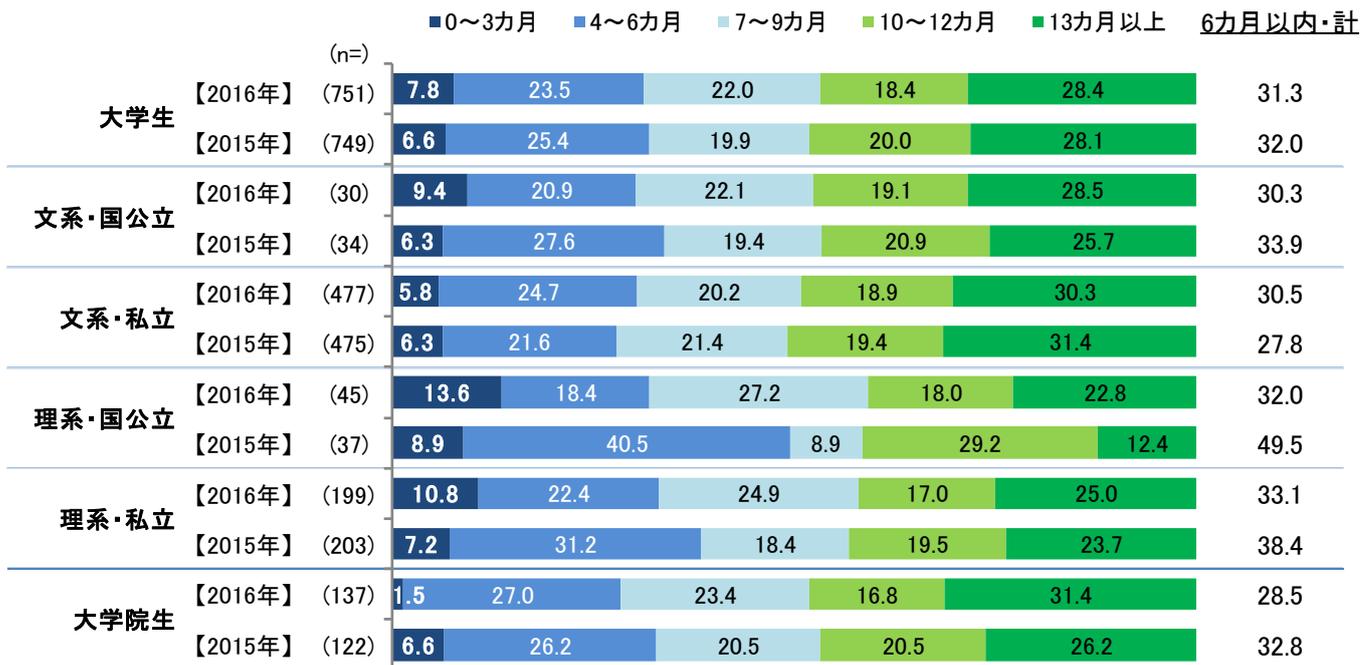
* 2015年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い黄色■、10ポイント以上低いセルを濃い水色■で網掛けした。

就職活動の進め方やノウハウに関する情報収集の開始時期から就職活動の終了時期までの実施期間は、大学生、大学院生ともに3割前後が半年以内となっており、大学生は2015年調査と実施期間が同じ傾向となっている。属性別に2015年調査と比較すると、理系大学生で「半年以内」の割合の低下が特に大きい。(図表5)

プレエントリー、企業説明会の開始時期から就職活動の終了時期までの実施期間は「4～6カ月」が最も多く、2015年調査から実施期間が短くなっている。また、面接など対面選考の開始時期から就職活動の実施期間は、大学生で「5～6カ月」、大学院生で「3～4カ月」が最も多くなっている。(図表6)

図表5 就職活動の実施期間(単一回答、単位=%)

* 就職活動の進め方やノウハウに関する情報収集の開始月から就職活動の終了月。
3月下旬時点の活動継続者は端数を切り上げ4月1日まで活動したとみなして算出。



図表6 就職活動の実施期間(単一回答、単位=%)

* 各就職活動の情報収集開始月から終了月。
3月下旬時点の活動継続者は端数を切り上げ4月1日まで活動したとみなして算出。

		n	0～3カ月	4～6カ月	7～9カ月	10～12カ月	13カ月以上
プレ エントリー	大学生	760	14.9 (2.7)	40.8 (3.5)	21.0 (1.8)	10.8 (-2.1)	12.6 (-5.8)
	大学院生	139	17.3 (8.7)	45.3 (-2.0)	16.5 (1.8)	7.9 (-2.2)	12.9 (-6.4)
企業 説明 会	大学生	773	15.7 (1.1)	41.0 (2.8)	20.3 (4.2)	10.0 (-3.1)	13.0 (-5.0)
	大学院生	138	18.1 (6.4)	47.8 (2.5)	14.5 (-1.1)	6.5 (-4.4)	13.0 (-3.4)
		n	0～2カ月	3～4カ月	5～6カ月	7～9カ月	10カ月以上
面接 など の 対 面 選 考	大学生	763	17.4 (-1.5)	22.7 (1.4)	25.7 (5.3)	14.7 (0.9)	19.5 (-6.2)
	大学院生	140	22.1 (5.2)	29.3 (-2.3)	20.7 (3.8)	10.0 (-3.1)	17.9 (-3.7)

* カッコ内は2015年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も多い区分を太字にした。
* 2015年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い黄色■、10ポイント以上低いセルを濃い水色■で網掛けした。

④大学生のプレエントリー39.2社、企業説明会参加20.8社、書類選考14.4社、面接など対面選考10.0社。2015年調査からプレエントリーした社数が10社以上減少。

各活動の対象企業・団体数の平均値は、大学生ではプレエントリー39.2社、企業説明会20.8社、書類選考14.4社、面接など対面選考10.0社、最終面接3.4社、内定取得2.2社。属性別にみると、文系大学生でプレエントリー、企業説明会、面接など対面選考の社数が多い。

2015年調査と比較すると、大学生、大学院生ともにプレエントリー社数は10社以上減少しているが、企業説明会の社数の減少はそれよりも小さい。

プレエントリーした企業のうち、就職活動開始前から知っていた企業は、大学生・大学院生ともに10社後半で、プレエントリーした企業の約半数に相当しており、その割合は2015年調査よりも上昇している。(図表7)

図表7 就職活動の各プロセスにおける対象企業・団体数の平均値(数値回答、単位=社)

	プレエントリーした(資料・採用情報の請求)	プレエントリーしたうち、就職活動開始前から知っていた	企業説明会に参加した	書類選考を受けた	面接などの対面選考を受けた	最終面接を受けた	内定(内々定)を取得した
大学生	39.2 (-14.4)	19.8 (-3.5)	20.8 (-2.6)	14.4 (-3.5)	10.0 (-1.3)	3.4 (0.3)	2.2 (0.3)
文系・国公立	41.7 (-8.3)	<u>26.6</u> (-4.2)	22.8 (1.0)	15.8 (-4.6)	10.4 (-2.1)	<u>3.7</u> (0.4)	<u>2.6</u> (0.7)
文系・私立	<u>45.9</u> (-11.7)	21.3 (-3.7)	<u>22.9</u> (-2.5)	<u>16.6</u> (-2.0)	<u>11.3</u> (-0.8)	3.6 (0.6)	2.3 (0.4)
理系・国公立	20.0 (-10.8)	16.3 (-2.7)	17.5 (1.0)	6.0 (-8.0)	5.3 (-3.1)	2.9 (-0.1)	2.1 (0.5)
理系・私立	27.4 (-21.7)	15.3 (-3.0)	16.4 (-4.1)	11.0 (-5.7)	8.0 (-1.7)	3.0 (-0.4)	2.0 (-0.1)
関東	41.6 (-16.4)	<u>20.8</u> (-3.4)	21.7 (-4.0)	15.8 (-4.5)	10.5 (-2.1)	<u>3.5</u> (0.2)	2.2 (0.2)
中部	38.9 (-4.3)	17.3 (1.0)	17.6 (-1.5)	11.9 (-0.5)	8.4 (-0.4)	3.2 (0.5)	2.0 (0.2)
近畿	<u>41.8</u> (-12.3)	20.0 (-5.8)	<u>24.2</u> (1.3)	<u>16.3</u> (-1.9)	<u>11.4</u> (0.2)	3.5 (0.3)	2.3 (0.4)
その他	29.7 (-17.0)	18.5 (-2.9)	16.5 (-3.8)	10.0 (-3.3)	7.8 (-1.3)	3.4 (0.4)	<u>2.4</u> (0.5)
大学院生	28.0 (-17.2)	15.6 (-5.3)	15.4 (-7.0)	12.6 (-7.8)	7.6 (-4.2)	2.7 (-0.5)	2.0 (0.1)

* カッコ内は2015年とのスコア差を掲載

* 各活動で、最も対象企業・団体数の平均値が多いセルに、属性/地域別に下線を引いた。

* 2015年とのスコア差が5ポイント以上高いセルを薄い黄色、5ポイント以上低いセルを薄い水色で網掛けした。

※回答者数(単位=人)

大学生	784	722	796	790	790	743	719
文系・国公立	33	32	34	33	35	33	31
文系・私立	493	467	503	500	497	476	465
理系・国公立	56	52	50	54	56	47	43
理系・私立	202	172	209	203	203	187	180
関東	359	335	366	360	363	344	334
中部	104	94	101	107	104	101	103
近畿	180	166	185	182	183	166	159
その他	141	127	144	141	139	132	123
大学院生	140	135	139	145	141	133	129

就職活動の各プロセスの対象企業・団体数の分布を属性別にみると、理系大学生は文系大学生に比べてプレエントリー、書類選考、面接など対面選考の社数が2015年調査から大きく減少している。また、大学院生でも同様の傾向が見られている。(図表8)

図表8 就職活動の各プロセスにおける対象企業・団体数の平均値(数値回答、単位=社)

		n=	20社未満				20~49社	50~99社	100社以上
			0社	1~4社	5~9社	10~19社			
(資料・採用情報の請求) プレエントリーした	大学生	823	4.8 (-4.1)	13.2 (3.2)	9.1 (3.0)	11.9 (1.7)	28.1 (4.9)	23.1 (2.0)	9.8 (-10.6)
	文系・国公立	35	3.9 (0.3)	8.4 (0.3)	12.9 (5.7)	5.2 (-3.3)	26.8 (-7.5)	29.3 (9.6)	13.6 (-5.2)
	文系・私立	514	4.0 (-4.1)	11.1 (2.4)	5.1 (0.7)	12.5 (2.7)	27.0 (2.2)	27.3 (4.7)	12.9 (-8.7)
	理系・国公立	56	- (-13.1)	29.6 (10.3)	18.2 (2.4)	18.6 (8.9)	26.1 (16.4)	- (-25.5)	7.5 (0.5)
	理系・私立	219	7.8 (-2.8)	14.8 (3.2)	15.7 (7.8)	9.8 (-1.7)	31.3 (10.8)	18.1 (1.2)	2.5 (-18.4)
	大学院生	148	5.4 (-0.3)	16.9 (9.1)	7.4 (0.3)	20.3 (8.9)	29.7 (1.4)	15.5 (-7.9)	4.7 (-11.6)
企業説明会に参加した	大学生	823	3.2 (-0.5)	15.4 (3.0)	14.3 (3.6)	20.0 (0.5)	35.5 (-5.3)	10.5 (-0.5)	1.0 (-0.7)
	文系・国公立	35	2.6 (-3.2)	18.0 (8.7)	2.6 (-10.8)	18.0 (-4.2)	47.8 (11.1)	11.0 (-1.5)	- (-)
	文系・私立	516	2.4 (-0.1)	12.2 (4.2)	13.1 (0.9)	19.7 (-0.4)	38.7 (-3.6)	12.3 (-0.1)	1.6 (-0.9)
	理系・国公立	56	11.1 (-4.7)	26.1 (-6.4)	14.6 (11.1)	15.0 (1.9)	22.1 (-6.8)	11.1 (4.9)	- (-)
	理系・私立	217	3.4 (-0.6)	19.9 (0.9)	18.8 (10.7)	22.4 (3.1)	29.6 (-10.9)	5.9 (-2.6)	- (-0.5)
	大学院生	148	6.1 (-0.3)	20.3 (12.5)	13.5 (2.9)	30.4 (5.6)	23.6 (-18.2)	6.1 (-1.7)	- (-0.7)
書類選考を受けた	大学生	825	4.2 (-0.4)	22.0 (5.6)	18.9 (3.8)	25.0 (-1.6)	27.0 (-3.8)	2.9 (-3.0)	- (-0.8)
	文系・国公立	35	4.2 (0.2)	13.6 (-3.0)	11.0 (0.3)	35.5 (2.4)	35.8 (6.7)	- (-4.0)	- (-2.7)
	文系・私立	516	3.1 (-0.3)	18.1 (5.3)	16.4 (-0.6)	25.8 (0.6)	32.1 (-2.5)	4.5 (-1.7)	- (-0.7)
	理系・国公立	56	3.6 (-8.8)	37.2 (-2.3)	40.7 (37.2)	7.5 (-8.3)	11.1 (-8.2)	- (-9.7)	- (-)
	理系・私立	219	7.1 (1.2)	28.8 (9.1)	20.4 (6.9)	25.8 (-5.0)	17.4 (-7.1)	0.4 (-4.3)	- (-0.7)
	大学院生	148	2.0 (0.6)	32.4 (16.1)	16.9 (4.8)	23.6 (-3.3)	21.6 (-10.3)	2.7 (-7.9)	0.7 (-0.0)

* カッコ内は2015年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに最も多い区分を太字にした。

* 2015年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い黄色■、10ポイント以上低いセルを濃い水色■で網掛けした。

※前ページより続き

		n=	20社未満				20~49社	50~99社	100社以上
			0社	1~4社	5~9社	10~19社			
面接などの 対面選考を受けた	大学生	825	4.3 (-0.9)	31.8 (6.8)	20.7 (-3.0)	27.1 (1.9)	15.5 (-3.6)	0.6 (-1.1)	- (-0.1)
	文系・国公立	35	- (-4.9)	23.2 (-0.4)	26.1 (1.1)	35.8 (9.9)	14.9 (-3.0)	- (-2.7)	- (-)
	文系・私立	516	3.8 (-0.2)	26.5 (3.8)	19.9 (-3.8)	29.4 (2.5)	19.5 (-1.1)	0.9 (-1.1)	- (-0.2)
	理系・国公立	56	- (-25.5)	59.3 (29.5)	7.1 (-14.9)	33.6 (26.6)	- (-15.8)	- (-)	- (-)
	理系・私立	219	7.3 (3.3)	38.6 (9.2)	25.1 (1.2)	18.7 (-6.2)	10.4 (-6.3)	- (-1.2)	- (-)
	大学院生	148	4.7 (-0.2)	38.5 (15.1)	28.4 (9.9)	19.6 (-13.0)	8.1 (-10.3)	0.7 (-0.7)	- (-0.7)
最終面接を受けた	大学生	823	9.7 (-0.2)	68.6 (-3.4)	15.5 (1.9)	6.0 (1.9)	0.2 (-0.2)	- (-)	- (-)
	文系・国公立	35	3.9 (-12.2)	74.5 (15.6)	12.0 (-9.5)	9.7 (6.1)	- (-)	- (-)	- (-)
	文系・私立	514	7.4 (-0.5)	66.2 (-9.9)	18.9 (6.8)	7.2 (3.6)	0.3 (0.0)	- (-)	- (-)
	理系・国公立	56	15.0 (-13.9)	77.9 (20.0)	3.6 (-9.6)	3.6 (3.6)	- (-)	- (-)	- (-)
	理系・私立	219	14.5 (5.1)	71.0 (3.2)	11.3 (-4.7)	3.2 (-2.9)	- (-0.7)	- (-)	- (-)
	大学院生	148	10.1 (0.2)	75.0 (9.8)	12.2 (-10.5)	2.7 (0.6)	- (-)	- (-)	- (-)

		n=	0社	1社	2社	3社	4社	5社以上
内定（内々定） を取得した	大学生		825	12.6 (0.2)	35.8 (-7.6)	21.4 (-3.3)	17.2 (5.7)	7.1 (2.3)
	文系・国公立	35	9.7 (-5.5)	24.5 (-13.8)	24.2 (4.1)	18.3 (1.4)	16.5 (7.1)	6.8 (6.8)
	文系・私立	516	9.6 (-1.1)	34.5 (-9.8)	24.3 (-3.4)	17.0 (6.9)	7.6 (3.1)	7.0 (4.4)
	理系・国公立	56	22.5 (-2.9)	25.7 (-19.9)	18.6 (5.4)	29.6 (13.8)	3.6 (3.6)	- (-)
	理系・私立	219	17.5 (4.2)	43.3 (1.8)	15.0 (-6.2)	14.5 (1.3)	5.6 (-0.5)	4.2 (-0.7)
	大学院生	148	12.8 (-2.1)	38.5 (-5.5)	28.4 (5.0)	10.1 (0.2)	6.1 (3.2)	4.1 (-0.9)

* カッコ内は2015年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに最も多い区分を太字にした。

* 2015年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い黄色■、10ポイント以上低いセルを濃い水色■で網掛けした。

⑤大学生が、[プレエントリー][一次選考応募]の対象を選ぶ時に知りたい情報の上位項目は「具体的な仕事内容」「勤務地」「事業の安定性・将来性」で、6～7割が知る事ができたと回答。

大学生が知りたかった情報は、[プレエントリー][一次選考応募]の対象を選ぶ時は、「具体的な仕事内容」「勤務地」「事業の安定性・将来性」が上位。大学生の6～7割が、[プレエントリー][一次選考応募]の対象を選ぶ段階までに、これら情報を知ることができたと回答している。

大学院生は、[プレエントリー][一次選考応募]の対象を選ぶ時に、「組織風土」を知りたい傾向が強く、大学院生の5割半ばが[プレエントリー][一次選考応募]の対象を選ぶ段階までに知る事ができたと回答した。(図表9、10)

図表9 就職活動の段階別に知りたかった情報(複数回答、単位=%)

(n=)	プレエントリー対象を選ぶとき		一次選考応募対象を選ぶとき		最終的な就職先を選ぶとき							
	大学生		大学院生		大学生		大学院生					
	すべて	特に3つまで	すべて	特に3つまで	すべて	特に3つまで	すべて	特に3つまで				
経営理念・ビジョン	41.7	18.4	37.8	14.9	34.3	16.7	33.8	15.5	29.0	15.0	28.4	11.5
社会貢献活動や環境問題への取り組み状況	16.0	6.1	20.3	6.1	13.1	4.6	16.2	4.1	11.6	4.8	14.9	3.4
事業の安定性・将来性	47.2	20.8	50.7	23.6	35.1	17.7	37.2	18.2	33.6	18.4	38.5	22.3
事業内容や商品・サービスの特性	43.6	14.7	50.7	20.3	32.2	13.0	33.1	12.8	23.6	9.7	24.3	6.1
具体的な仕事内容	56.1	34.0	66.9	37.2	44.1	25.3	54.7	29.7	40.2	24.3	51.4	29.1
若手社員の仕事の様子	30.0	7.0	34.5	7.4	27.3	9.7	29.1	10.1	24.4	7.3	26.4	9.5
組織風土	32.1	9.4	40.5	10.8	26.7	10.4	38.5	14.9	26.6	12.2	35.1	16.9
従業員構成の男女比・内訳	19.7	1.8	16.9	2.0	11.9	1.7	11.5	1.4	11.6	1.7	12.2	2.0
従業員構成の年齢別の内訳	16.8	1.1	12.8	2.7	11.4	1.3	8.8	1.4	11.4	1.8	10.1	1.4
職場の人間関係・雰囲気	33.9	12.8	33.8	9.5	32.3	14.9	32.4	12.8	35.2	19.8	33.8	17.6
勤務地	48.2	21.7	45.3	18.2	39.5	17.3	44.6	16.9	44.0	21.8	40.5	18.2
採用時の具体的な給与・賞与額	38.2	11.9	31.8	11.5	32.4	11.6	31.1	10.8	36.8	16.7	35.1	16.2
将来の給与の見通し	27.3	6.9	27.7	6.8	24.4	6.9	27.7	9.5	27.5	10.5	31.8	14.2
諸手当の支給状況	23.6	2.7	23.6	2.7	19.9	2.7	25.0	4.7	24.8	4.8	27.7	4.7
忙しさの度合い	29.1	6.9	29.1	5.4	26.9	7.3	31.8	6.8	29.6	10.3	34.5	7.4
有給休暇日数と取得状況	23.7	3.0	23.6	1.4	20.1	3.1	20.9	-	25.0	5.9	27.0	3.4
人事評価制度と運用状況	10.9	0.4	10.1	-	9.1	0.8	12.2	0.7	11.4	1.4	14.9	1.4
教育研修制度と運用状況	15.9	0.8	15.5	0.7	15.5	1.9	18.2	1.4	18.8	4.7	18.2	2.7
出産・育児・介護との両立を支援する制度と利用状況	14.5	1.7	12.2	3.4	12.4	1.8	12.2	4.1	13.5	2.6	14.9	4.1
新卒者の定着状況	20.5	2.5	26.4	1.4	15.9	1.9	18.2	1.4	17.6	3.6	19.6	2.7
新卒者の採用人数	29.2	3.7	31.1	4.7	20.0	3.3	23.0	5.4	12.8	1.5	16.2	3.4
採用選考の応募資格(学校種別、専攻分野)	18.6	1.2	23.6	4.7	12.4	1.8	16.2	2.7	7.2	0.7	8.1	0.7
採用実績校	17.0	1.3	17.6	2.7	10.2	1.3	9.5	0.7	5.1	0.3	6.8	0.7
求める人物像・採用選考の基準	30.8	4.7	34.5	5.4	26.0	8.5	27.7	10.8	12.4	2.5	14.2	4.7
選考中に提出が必要な書類	29.1	4.9	37.2	5.4	21.0	7.1	30.4	8.1	6.1	0.3	12.2	2.0
内定までの選考プロセス	37.7	14.3	42.6	14.2	30.9	15.1	32.4	13.5	13.3	6.4	14.9	8.1
その他	0.7	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6	1.4	1.4	0.6	0.6	-	-

* 属性ごとに選択率が上位の3項目を■で網掛け太字にした。

図表10 知ることができた情報とそのタイミング(単一回答、単位=%)

* 1:属性ごとに各情報の選択率が最も多い項目を太字にした。
 * 2:属性ごとに、「図表9 就職活動の段階別に知りたかった(特に)」の選択率の合計値が高い上位3情報に■で網掛けした。

	大学生 (n=825)				大学院生 (n=148)			
	知ることができた			知ることができなかった	知ることができた			知ることができなかった
	プレエントリー対象を選ぶときまで	一次選考応募対象を選ぶときまで	最終的な就職先を選ぶときまで		プレエントリー対象を選ぶときまで	一次選考応募対象を選ぶときまで	最終的な就職先を選ぶときまで	
経営理念・ビジョン	56.0	29.1	9.1	5.9	53.4	33.1	10.1	3.4
社会貢献活動や環境問題への取り組み状況	37.1	37.9	9.9	15.1	41.9	37.8	6.8	13.5
事業の安定性・将来性	31.0	40.4	16.4	12.1	31.1	44.6	15.5	8.8
事業内容や商品・サービスの特性	40.9	38.3	13.5	7.3	41.9	41.9	12.8	3.4
具体的な仕事内容	33.2	41.3	18.3	7.2	35.1	41.2	15.5	8.1
若手社員の仕事の様子	19.1	43.0	19.3	18.5	20.9	37.2	18.2	23.6
組織風土	19.9	41.7	21.3	17.1	19.6	35.8	23.6	20.9
従業員構成の男女比・内訳	30.6	35.8	15.9	17.8	37.2	31.8	13.5	17.6
従業員構成の年齢別の内訳	27.4	35.9	14.5	22.2	31.1	31.8	10.1	27.0
職場の人間関係・雰囲気	17.8	38.6	23.9	19.7	20.3	28.4	29.1	22.3
勤務地	34.6	32.7	20.7	12.0	36.5	37.2	20.9	5.4
採用時の具体的給与・賞与額	32.1	36.4	19.2	12.3	33.1	29.7	22.3	14.9
将来の給与の見通し	19.8	31.7	17.1	31.3	18.9	26.4	18.9	35.8
諸手当の支給状況	22.9	37.3	23.6	16.1	21.6	30.4	25.7	22.3
忙しさの度合い	14.7	35.0	21.5	28.9	11.5	32.4	23.0	33.1
有給休暇日数と取得状況	15.1	33.4	18.9	32.6	18.2	32.4	14.9	34.5
人事評価制度と運用状況	14.5	30.3	19.2	36.0	16.2	28.4	13.5	41.9
教育研修制度と運用状況	18.6	37.5	24.5	19.4	18.2	31.8	25.0	25.0
出産・育児・介護との両立を支援する制度と利用状況	18.4	36.2	18.5	26.9	22.3	33.8	14.2	29.7
新卒者の定着状況	17.7	32.7	16.5	33.1	21.6	30.4	17.6	30.4
新卒者の採用人数	36.2	31.7	16.9	15.2	35.1	33.8	15.5	15.5
採用選考の応募資格(学校種別、専攻分野)	44.5	29.2	13.0	13.2	44.6	33.1	6.1	16.2
採用実績校	40.0	29.0	11.4	19.6	45.3	28.4	5.4	20.9
求める人物像・採用選考の基準	36.5	37.5	14.0	11.9	41.2	33.8	9.5	15.5
選考中に提出が必要な書類	40.3	37.6	13.7	8.4	37.8	45.3	8.1	8.8
内定までの選考プロセス	35.2	40.1	14.7	10.0	34.5	43.9	9.5	12.2
その他	5.5	7.7	5.6	42.1	5.4	4.7	2.7	41.9

**⑥大学4年/大学院2年の9月までに就職活動を終了した者は全体の6割超で、前年とほぼ同水準
活動終了時期が遅い者や3月下旬時点の活動継続者ほど、開始時期が遅く、活動期間が長い。**

大学生を就職活動の終了時期別に4区分すると、終了時期が遅い者や、3月時点での活動継続者ほど就職活動の開始時期が遅く、かつ就職活動期間が長い。大学4年5～9月までの終了者の実施期間は「4～6カ月」「7～9カ月」がボリュームゾーンであるが、それよりも終了時期が遅い者や、活動継続者は「13カ月以上」の実施期間が最も多くなっている。

2015年調査に比べると、大学4年4月までの終了者の割合が2016年調査では大幅に減少している。また、大学4年10～3月までの終了者でも実施期間が短くなっている。(図表11、12)

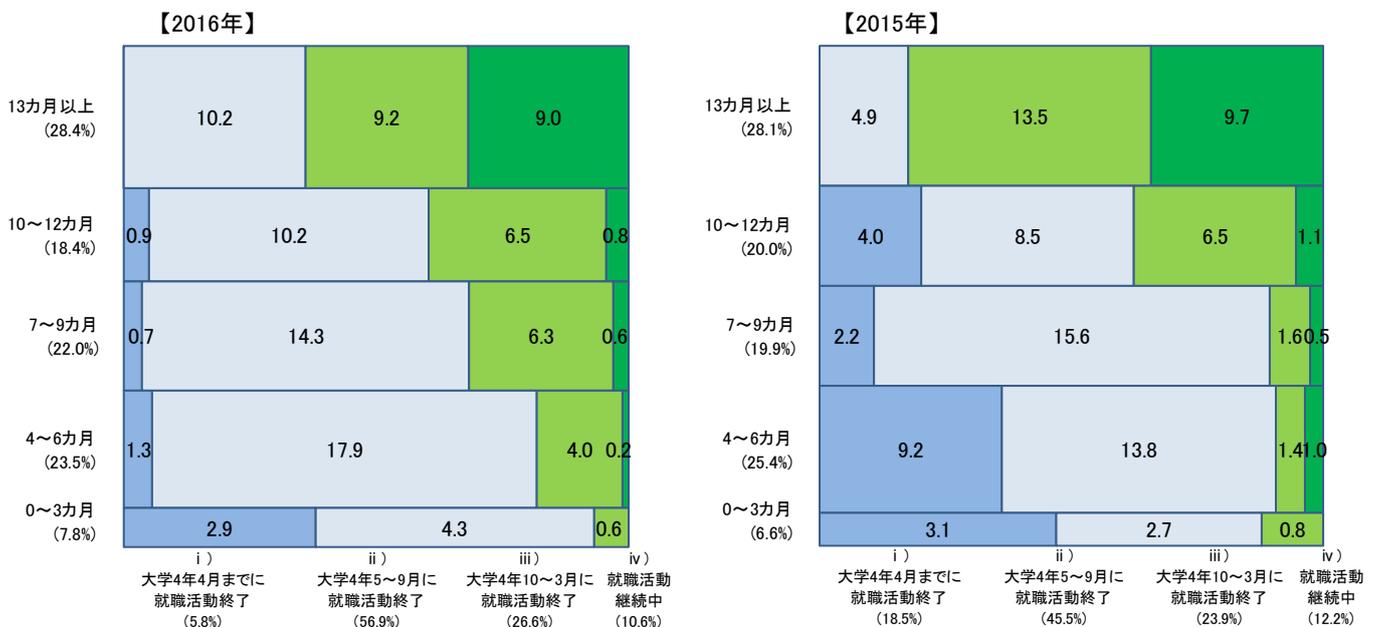
図表11 【就職活動終了時期別】大学生の就職活動の開始時期(単一回答、単位=%)

就職活動の進め方	n	大学3年/大学院1年					大学4年/大学院2年				
		5月以前	6～9月頃	10～11月頃	12月頃	1～2月頃	3月頃	4～5月頃	6～7月頃	8月以降	
i) 大学4年4月までに就職活動終了	65	28.9 (11.4)	33.8 (10.0)	6.6 (-24.1)	11.4 (-8.4)	5.5 (2.3)	11.8 (8.6)	1.9 (1.0)	- (-0.8)	- (-)	
ii) 大学4年5～9月に就職活動終了	428	11.5 (0.4)	19.0 (0.1)	16.5 (-3.7)	10.5 (-21.7)	18.4 (12.8)	16.4 (11.0)	6.4 (2.8)	0.9 (-1.2)	0.5 (-0.4)	
iii) 大学4年10～3月に就職活動終了	200	13.5 (1.0)	14.0 (-6.6)	8.5 (-10.9)	3.9 (-19.2)	18.2 (12.1)	18.5 (15.4)	12.7 (6.4)	4.7 (1.8)	6.0 (0.0)	
iv) 就職活動継続中	80	18.2 (10.2)	14.3 (-0.2)	13.8 (-4.3)	9.3 (-11.9)	9.4 (-1.3)	19.5 (12.5)	4.9 (-3.8)	2.3 (0.3)	8.3 (-1.5)	

* カッコ内は2015年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに最も多い区分を太字にした。

* 2015年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い黄色■、10ポイント以上低いセルを濃い水色■で網掛けした。

図表12 【就職活動終了時期別】大学生の就職活動の実施期間(単位=%)



各活動の対象企業・団体数の平均値は、大学4年4月までの終了者、3月時点での活動継続者で、各活動の社数が少ない傾向となっている。大学4年4月までの終了者は、プレントリー、企業説明会、書類選考、面接など対面選考のいずれも「1～4社」が最も多く、就職活動当初から対象企業を絞り込んでいることがわかる。

一方、3月時点での活動継続者は、プレントリーは約4割、企業説明会は約3割、書類選考は4割後半、面接など対面選考は7割、最終面接は8割後半が、実施した企業数が5社未満であった。大学4年10～3月までの終了者の半数強が、2社以上から内定を取得している一方で、3月下旬時点での活動継続者は74.2%が内定を1社からも取得していない。(図表12、13)

就職活動の段階別に最も役立った情報源は、大学4年4月までの終了者は「ない/わからない・覚えていない」、それ以降の終了者、3月時点での活動継続者は「民間の就職情報会社の就職情報サイトや情報誌、各種イベント」がトップとなっている。なお、最終的な就職先の認知経路は、いずれの時期も「民間の就職情報会社の就職情報サイトや情報誌、各種イベント」が最も多い。(図表14)

図表12 【就職活動終了時期別】就職活動の各プロセスにおける対象企業・団体数の平均値(数値回答、単位=社)

	プレントリーした(資料・採用情報の請求)	プレントリーしたうち、就職活動開始前から知っていた	企業説明会に参加した	書類選考を受けた	面接などの対面選考を受けた	最終面接を受けた	内定(内々定)を取得した
i) 大学4年4月までに就職活動終了	30.6 (-22.8)	<u>21.0</u> (-5.3)	21.8 (-0.6)	<u>10.0</u> (-6.0)	7.3 (-3.4)	2.8 (-0.3)	<u>2.3</u> (0.2)
ii) 大学4年5～9月に就職活動終了	41.1 (-18.2)	20.1 (-5.5)	<u>21.8</u> (-3.3)	<u>15.2</u> (-4.2)	<u>10.8</u> (-1.5)	3.4 (0.2)	2.3 (0.3)
iii) 大学4年10～3月に就職活動終了	<u>44.0</u> (-3.4)	20.2 (2.1)	19.9 (-4.7)	14.9 (-3.7)	10.2 (-0.8)	<u>3.7</u> (0.7)	2.1 (0.5)
iv) 就職活動継続中	23.5 (-18.4)	14.8 (-1.3)	16.8 (0.4)	11.5 (-1.5)	6.7 (-2.5)	3.3 (0.5)	1.5 (-0.5)

* カッコ内は2015年とのスコア差を掲載

* 各活動で、最も対象企業・団体数の平均値が多い属性のセルに下線を引いた。

* 2015年とのスコア差が5ポイント以上高いセルを薄い黄色、5ポイント以上低いセルを薄い水色で網掛けした。

※回答者数(単位=人)

i) 大学4年4月までに就職活動終了	64	63	65	65	66	64	62
ii) 大学4年5～9月に就職活動終了	438	414	445	446	445	428	429
iii) 大学4年10～3月に就職活動終了	201	183	207	211	209	204	206
iv) 就職活動継続中	80	63	79	68	70	47	22

図表13 【就職活動終了時期別】大学生の就職活動の対象企業・団体数の分布(数値回答、単位=%)

	n=	20社未満				20~49社	50~99社	100社以上	
		0社	1~4社	5~9社	10~19社				
プレ ゼン ト リ ー 情 報 の 資 料 採 用 し た	i) 大学4年4月までに就職活動終了	66	3.2 (2.0)	23.2 (17.3)	13.7 (3.5)	9.3 (-4.5)	21.1 (0.5)	18.1 (-5.7)	11.4 (-13.0)
	ii) 大学4年5~9月に就職活動終了	451	2.8 (-4.5)	9.3 (1.3)	8.9 (5.6)	12.6 (5.3)	28.5 (3.4)	27.2 (0.6)	10.6 (-11.6)
	iii) 大学4年10~3月に就職活動終了	219	7.8 (-3.5)	11.7 (-2.1)	8.2 (-1.8)	9.9 (-4.4)	33.3 (12.5)	19.0 (6.1)	10.1 (-6.8)
	iv) 就職活動継続中	87	8.1 (-15.9)	29.9 (11.8)	9.3 (8.0)	14.8 (8.8)	18.0 (-7.5)	15.9 (4.4)	4.1 (-9.7)
企 業 説 明 会 に 参 加 し た	i) 大学4年4月までに就職活動終了	66	1.4 (-2.5)	26.4 (13.0)	15.7 (1.8)	10.1 (-3.1)	25.0 (-18.8)	21.5 (10.0)	- (-0.4)
	ii) 大学4年5~9月に就職活動終了	453	1.8 (-1.3)	13.8 (6.2)	13.4 (4.8)	20.9 (-0.0)	38.0 (-8.9)	10.6 (-0.8)	1.4 (-0.0)
	iii) 大学4年10~3月に就職活動終了	218	5.2 (0.3)	12.7 (-6.9)	14.7 (3.7)	22.4 (5.2)	34.6 (3.8)	9.6 (-2.7)	0.8 (-3.4)
	iv) 就職活動継続中	85	7.2 (3.3)	22.3 (7.5)	16.6 (4.9)	17.4 (-13.9)	32.7 (0.6)	3.8 (-2.3)	- (-)
書 類 選 考 を 受 け た	i) 大学4年4月までに就職活動終了	66	2.6 (-2.6)	31.0 (16.0)	27.7 (14.0)	21.5 (-9.3)	16.7 (-16.3)	0.7 (-1.8)	- (-)
	ii) 大学4年5~9月に就職活動終了	453	1.5 (-0.5)	21.7 (8.2)	18.6 (4.2)	24.6 (-1.0)	30.4 (-6.1)	3.2 (-3.9)	- (-0.8)
	iii) 大学4年10~3月に就職活動終了	219	3.3 (-2.0)	18.8 (-2.3)	16.6 (0.4)	30.0 (5.5)	28.3 (5.7)	3.1 (-5.5)	- (-1.7)
	iv) 就職活動継続中	87	22.1 (9.7)	25.1 (4.6)	19.5 (1.8)	16.9 (-10.0)	13.4 (-7.4)	3.0 (1.2)	- (-)
面 接 な ど の 対 面 選 考 を 受 け た	i) 大学4年4月までに就職活動終了	66	0.7 (-6.3)	44.4 (25.6)	21.1 (-7.2)	22.6 (-3.7)	11.2 (-7.3)	- (-1.0)	- (-)
	ii) 大学4年5~9月に就職活動終了	453	1.6 (-2.3)	27.4 (5.9)	24.5 (2.4)	27.8 (-1.0)	18.0 (-4.2)	0.6 (-0.6)	- (-0.2)
	iii) 大学4年10~3月に就職活動終了	219	4.6 (1.3)	29.2 (-4.6)	18.7 (-2.8)	30.8 (10.6)	16.1 (-1.7)	0.6 (-2.7)	- (-)
	iv) 就職活動継続中	87	20.0 (9.2)	51.4 (19.9)	5.3 (-20.3)	17.8 (-1.9)	4.4 (-6.3)	1.1 (-0.6)	- (-)

* カッコ内は2015年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに最も多い区分を太字にした。

* 2015年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い黄色■、10ポイント以上低いセルを濃い水色■で網掛けした。

※前ページより続き

		n=	20社未満				20~49社	50~99社	100社以上
			0社	1~4社	5~9社	10~19社			
最終面接を受けた	i) 大学4年4月までに就職活動終了	65	0.7 (-8.6)	81.2 (10.8)	16.4 (-0.2)	1.7 (-1.7)	- (-0.3)	- (-)	- (-)
	ii) 大学4年5~9月に就職活動終了	452	5.5 (-0.1)	72.5 (-3.6)	15.8 (3.1)	6.2 (0.9)	- (-0.3)	- (-)	- (-)
	iii) 大学4年10~3月に就職活動終了	219	6.5 (-0.3)	68.0 (-8.5)	17.9 (4.9)	6.9 (4.0)	0.7 (-0.1)	- (-)	- (-)
	iv) 就職活動継続中	87	46.0 (11.6)	40.5 (-9.3)	7.6 (-5.2)	5.9 (2.9)	- (-)	- (-)	- (-)

		n=	0社	1社	2社	3社	4社	5社以上
内定(内々定)を取得し	i) 大学4年4月までに就職活動終了		66	6.3 (-1.2)	30.9 (-8.1)	21.2 (-6.5)	27.9 (12.8)	12.8 (5.9)
	ii) 大学4年5~9月に就職活動終了	453	4.9 (2.3)	37.5 (-10.6)	23.0 (-3.6)	18.9 (4.7)	8.4 (4.3)	7.3 (2.9)
	iii) 大学4年10~3月に就職活動終了	219	5.8 (-0.7)	40.0 (-12.4)	26.2 (-1.8)	17.0 (10.7)	4.5 (-1.4)	6.5 (5.6)
	iv) 就職活動継続中	87	74.2 (2.1)	20.6 (6.1)	1.2 (-3.7)	1.1 (-4.4)	2.8 (0.8)	- (-0.9)

* カッコ内は2015年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに最も多い区分を太字にした。

* 2015年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い黄色■、10ポイント以上低いセルを濃い水色■で網掛けした。

図表14 【就職活動終了時期別】大学生の就職活動段階別に最も役立つ情報源と最終的な就職先の認知経路(単位=%)
 ※最も役立つ情報源は単一回答、就職先の認知経路は複数回答。

n=		政府や自治体など行政の就職情報サイトや情報誌、各種イベント	政府や自治体など行政による紹介	民間の就職情報会社や情報誌、各種イベント	民間の就職情報会社による紹介	個別企業・団体の商品・サービス	個別企業・団体のインターンシップ	個別企業・団体の採用HP・パンフなどの広報物や社員	大学/大学院の就職情報サイトや情報誌、各種イベント	大学/大学院のキャリアセンター・就職部による紹介	大学/大学院の教員による紹介	家族や知人による紹介	マスコミ ※テレビ、新聞、雑誌、ラジオなど	その他のインターネット ※各種就職情報サイトは含まない	その他	最も役立つ情報源:役に立ったものはない/認知経路:わからない・覚えていない	
ときにプレエントリー最も役立つ対象を選んだ情報源	i) 大学4年4月までに就職活動終了	66	18.0	7.0	14.7	11.5	1.3	0.9	4.7	10.5	7.2	-	-	0.9	4.3	-	18.9
	ii) 大学4年5~9月に就職活動終了	453	8.8	2.7	45.5	5.6	0.6	3.2	6.0	6.4	2.6	2.2	1.8	0.1	3.3	0.1	11.0
	iii) 大学4年10~3月に就職活動終了	219	9.7	5.0	32.9	10.8	3.5	1.1	5.7	3.3	6.7	0.5	1.2	0.5	2.4	-	16.6
	iv) 就職活動継続中	87	13.4	10.4	29.8	4.3	-	1.9	1.7	5.9	7.1	2.3	4.4	1.1	0.7	-	16.9
一次選考応募対象を選んだときに最も役立つ情報源	i) 大学4年4月までに就職活動終了	66	18.0	4.9	11.3	13.7	3.0	7.2	5.7	10.6	1.5	-	-	0.9	5.2	-	17.9
	ii) 大学4年5~9月に就職活動終了	453	6.4	2.1	36.3	6.0	1.5	3.4	12.0	4.2	4.7	1.8	1.7	-	4.7	0.1	15.1
	iii) 大学4年10~3月に就職活動終了	219	7.8	5.3	32.0	8.4	3.3	2.0	9.5	2.6	6.1	0.5	0.6	0.3	3.5	-	18.2
	iv) 就職活動継続中	87	9.9	11.1	25.0	6.9	-	3.0	4.7	2.8	3.0	2.3	4.4	-	1.9	-	24.9
最終的な就職先を選んだときに最も役立つ情報源	i) 大学4年4月までに就職活動終了	66	22.1	4.0	10.6	11.5	3.0	7.9	5.0	7.7	-	-	4.6	1.9	1.5	0.9	19.3
	ii) 大学4年5~9月に就職活動終了	453	5.9	1.3	28.0	5.5	1.4	2.4	14.2	3.7	5.7	2.9	2.6	-	3.5	0.4	22.6
	iii) 大学4年10~3月に就職活動終了	219	7.6	5.5	19.4	12.0	4.0	1.8	11.9	2.4	5.7	0.9	2.6	-	2.6	-	23.5
	iv) 就職活動継続中	87	9.9	6.4	21.5	4.8	-	2.4	8.1	0.7	4.4	2.3	2.1	-	4.6	-	32.8
最終的な就職先の認知経路	i) 大学4年4月までに就職活動終了	48	8.9	5.2	45.5	16.0	5.1	1.3	9.8	20.0	18.1	-	14.4	1.3	3.2	1.3	3.5
	ii) 大学4年5~9月に就職活動終了	415	9.8	1.7	50.8	12.9	7.0	6.8	16.8	20.4	12.9	6.5	8.4	5.9	4.2	1.9	5.0
	iii) 大学4年10~3月に就職活動終了	195	12.0	12.4	40.6	19.6	5.9	6.4	13.8	22.4	22.8	5.1	9.5	1.4	4.0	3.0	1.1
	iv) 就職活動継続中	11	9.7	9.7	31.2	14.6	-	-	-	5.6	-	-	9.0	16.6	-	18.3	4.0

* 属性ごとに最も多い区分を太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い黄色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い黄色□、10ポイント以上低いセルを濃い水色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い水色□で網掛けした。

⑦学生は、大卒者・若年者等の就職を取り巻く日本の労働市場の実態について十分な知識を得ていない。「中小企業の割合」も、大学生の3割後半、大学院生の4割半ばの認知にとどまる。

就職を取り巻く環境に関する実態の認知度は、「日本の全会社数の99%は中小企業で、中小企業で働く人の割合は、大企業で働く人を大きく上回っている」が最多だが、大学生の3割後半、大学院生の4割半ばにとどまる。2015年調査と比べても、認知度に大きな差はみられない。(図表15)

図表15 日本の大卒者・若年者等の就職を取り巻く環境に関する実態の認知度(複数回答、単位=%)

*日本の大卒者や若年者の就職を取り巻く環境の実態として、あてはまると思う文章をすべて選択させた。選択肢として取り上げた内容は、すべて日本の労働市場の現状に該当するものである。文章は「学校基本調査」など政府統計や関連調査・資料を参照して作成。

	大学生 (n=825)	大学院生 (n=148)
A 1990年からの20年間で、日本の18歳人口は約4割減ったが、大学進学率が約2倍の約50%に増えたため、大学入学者数は約1.2倍に増えた	20.0 (-3.2)	24.3 (-6.9)
B 過去28年間、日本の大卒労働市場は、ほぼ常に就職を希望する学生数(供給側)より、企業の求人数(需要側)の方が多かった	15.8 (2.2)	17.6 (-0.9)
C 日本の若年者(15~24歳)の失業率は、アメリカ、イギリス、フランスなどの諸外国に比べて低い	19.9 (-2.8)	31.1 (-1.5)
D 大卒求人倍率(※)は、企業規模や業種による差が大きい 例)2016年卒者の調査結果によると、従業員数300人未満の中小企業が3.59倍であるのに対し、5,000人以上の超大手企業は0.70倍、流通業5.65倍に対し、金融業0.23倍	31.5 (-0.7)	43.2 (2.1)
E 大学卒業後、就職活動を開始した当初の第1志望に就職する人は就職者の3割程度に留まる	26.1 (-0.8)	33.1 (-1.6)
F 日本の全会社数の99%は中小企業で、中小企業で働く人の割合は、大企業で働く人を大きく上回っている	38.5 (-2.6)	45.3 (-0.1)
G 大学卒業後の就職予定先業種の過半数を情報・サービス業と小売・流通業が占め、製造業(10%強)や金融・保険業(10%弱)を大きく上回る	12.8 (1.8)	13.5 (0.0)
H 大学卒業後の就職予定先職種が事務系の人は3割以下である	10.5 (-0.9)	6.8 (-3.9)
あてはまるものはない	26.8 (2.0)	22.3 (3.1)

※D: 2015年では「例)従業員数300人未満の中小企業が4.52倍であるのに対し、5,000人以上の超大手企業は0.55倍、流通業5.49倍に対し、金融業0.22倍」として聴取

*カッコ内は2015年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに最も多い区分を太字にした。

* 2015年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い黄色■、10ポイント以上低いセルを濃い水色■で網掛けした。

設問の文章作成時に参照した資料

A、G、H: 文部科学省「学校基本調査」

B、D: リクルートワークス研究所「ワークス大卒求人倍率調査」

C: 内閣府 雇用戦略対話 第7回資料

E: マイナビHRリサーチセンター「内定者意識調査」、リクルートキャリア 就職みらい研究所「就職白書2015」

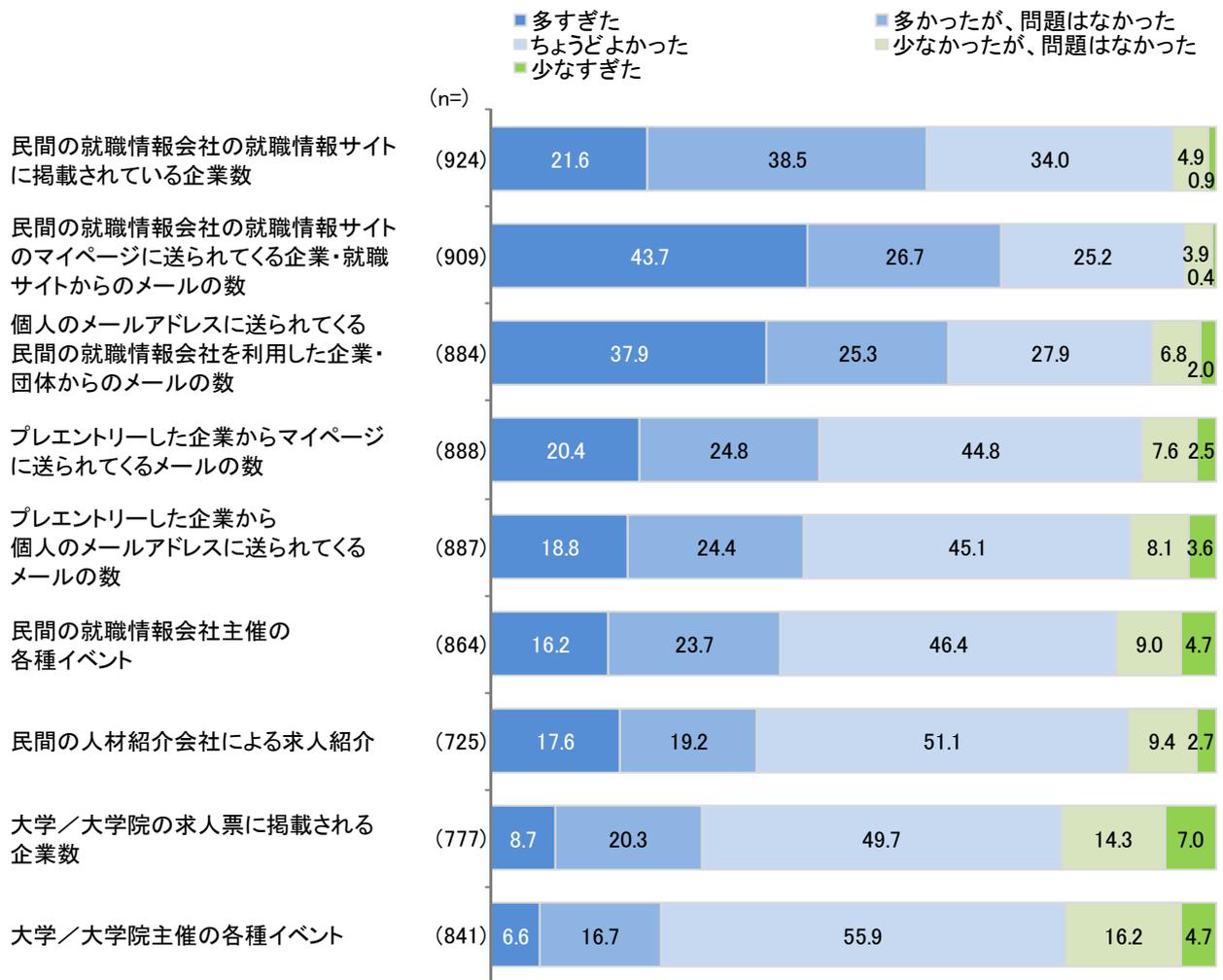
F: 総務省統計局「経済センサス」

**⑧民間の就職情報会社から提供される情報は「情報量が多いが、役立った」との評価。
最も役立った情報は「民間の就職情報会社の就職情報サイトに掲載されている企業」。**

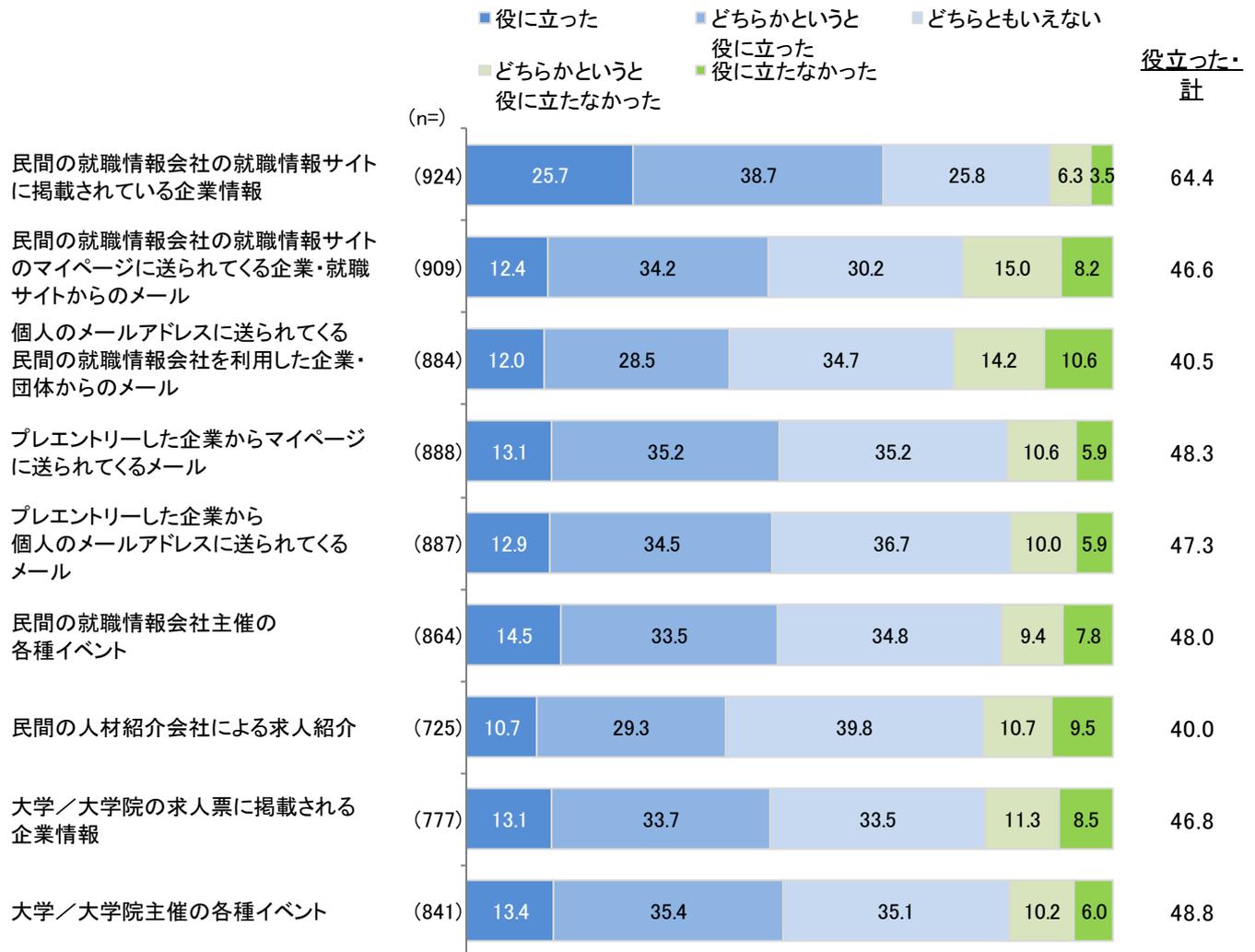
企業・団体等から提供される情報量は、『民間の就職情報会社の就職情報サイトのマイページに送られてくる企業・就職サイトからのメールの数』『個人のメールアドレスに送られてくる民間の就職情報会社を利用した企業・団体からのメールの数』の「多すぎた」の割合が3～4割と多いものの、いずれの情報ともに「ちょうどよかった」「多かったが、問題はなかった」「少なかったが、問題はなかった」が半数以上を占めている。(図表16)

企業・団体等から提供される情報の役立ち度は、『民間の就職情報会社の就職情報サイトに掲載されている企業情報』の役立った・計が6割半ばでトップ。また、『民間の就職情報会社の就職情報サイトのマイページに送られてくる企業・就職サイトからのメール』『個人のメールアドレスに送られてくる民間の就職情報会社を利用した企業・団体からのメール』も4割が役立ったと回答しており、他の情報と違いはみられない。(図表17)

図表16 企業・団体等から提供される情報量(単一回答、単位=%)



図表17 企業・団体等から提供される情報の役立ち度(単一回答、単位=%)

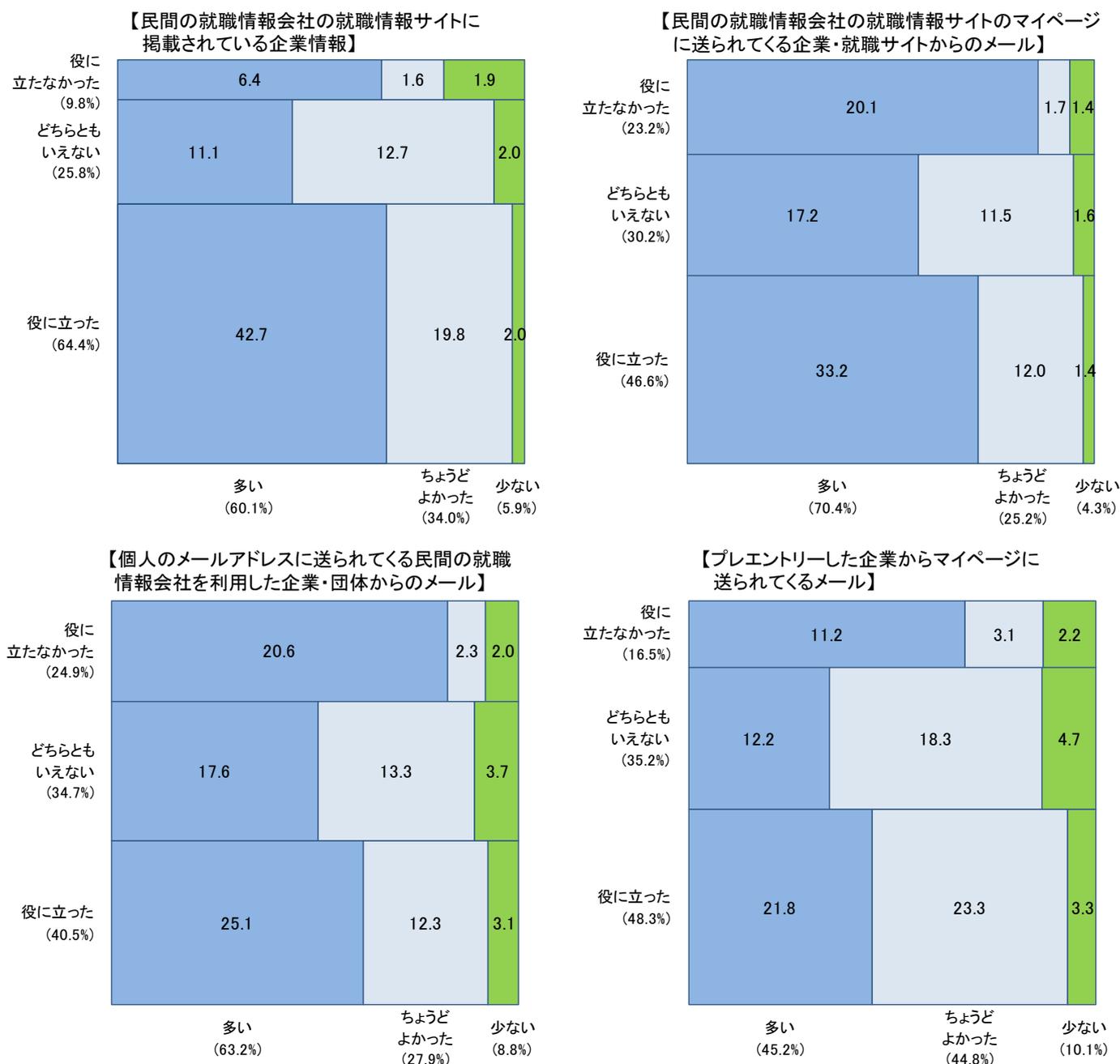


企業・団体等から提供される情報量、情報の役立ち度の構成比をみると、『民間の就職情報会社の就職情報サイトに掲載されている企業情報』『民間の就職情報会社の就職情報サイトのマイページに送られてくる企業・就職サイトからのメール』『個人のメールアドレスに送られてくる民間の就職情報会社を利用した企業・団体からのメール』は、「情報量が多いが、役に立った」の割合が最も多い。

一方、『大学／大学院の求人票に掲載される企業情報』『大学／大学主催の各種イベント』は、情報量は「ちょうどよかった」が多いものの、役立ち度は「役に立った」と「どちらともいえない」の割合が比較的近い。(図表18)

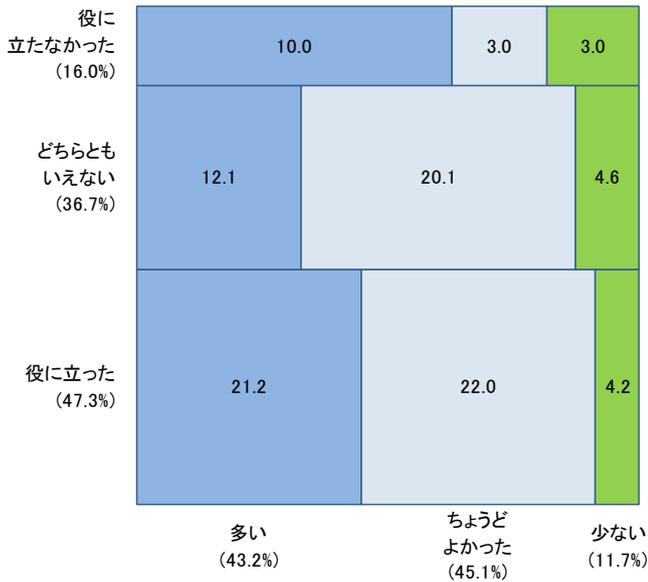
図表18 企業・団体等から提供される情報の役立ち度(単一回答、単位=%)

* 横軸: 就職活動を通して企業・団体等から提供される各情報の量
 縦軸: 就職活動を通して企業・団体等から提供される各情報の役立ち度

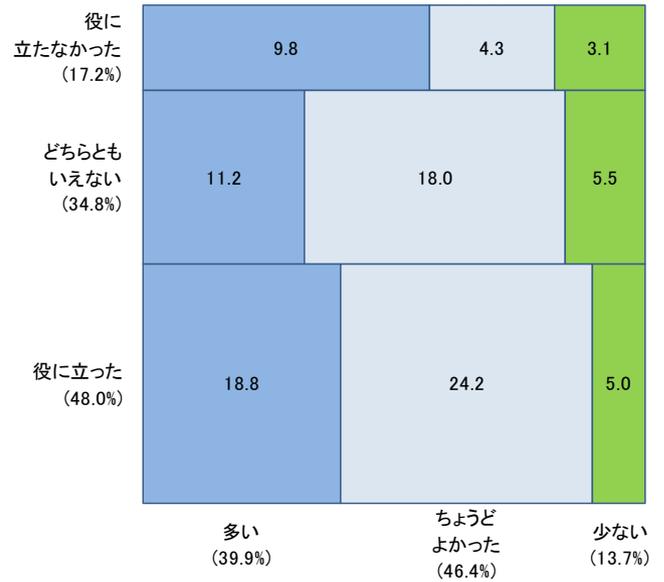


※前ページより続き

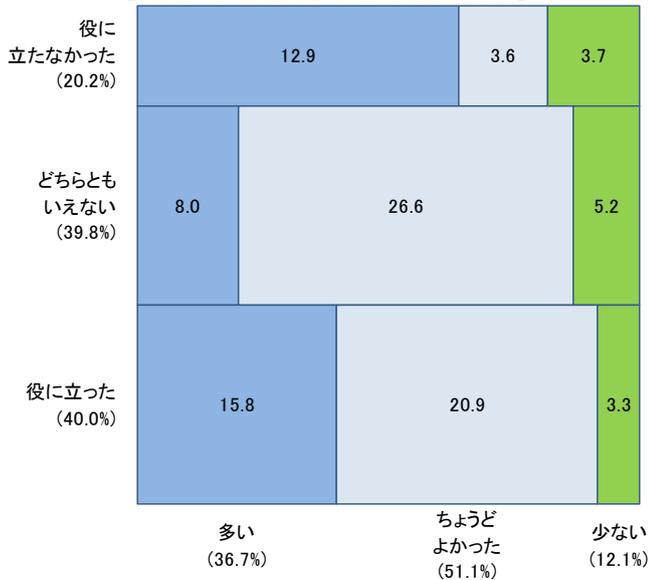
【プレエントリーした企業から個人のメールアドレスに送られてくるメール】



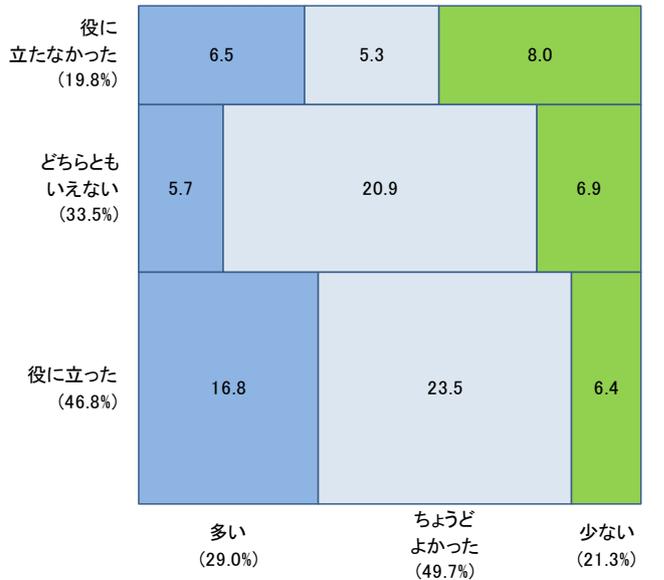
【民間の就職情報会社主催の各種イベント】



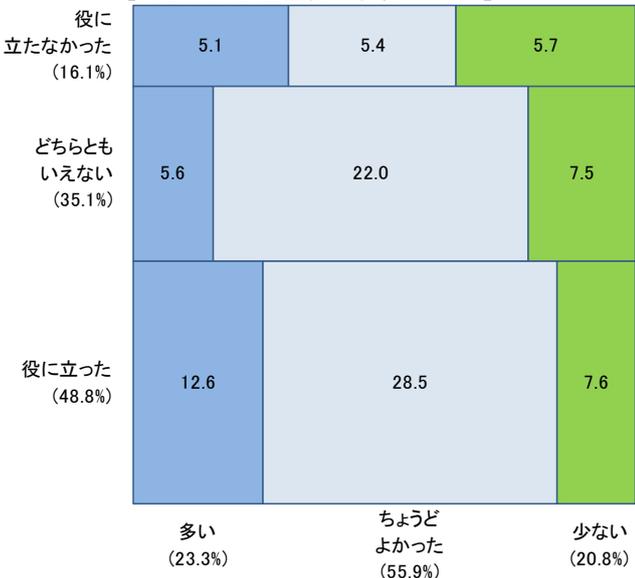
【民間の人材紹介会社による求人紹介】



【大学／大学院の求人票に掲載される企業情報】



【大学／大学院主催の各種イベント】

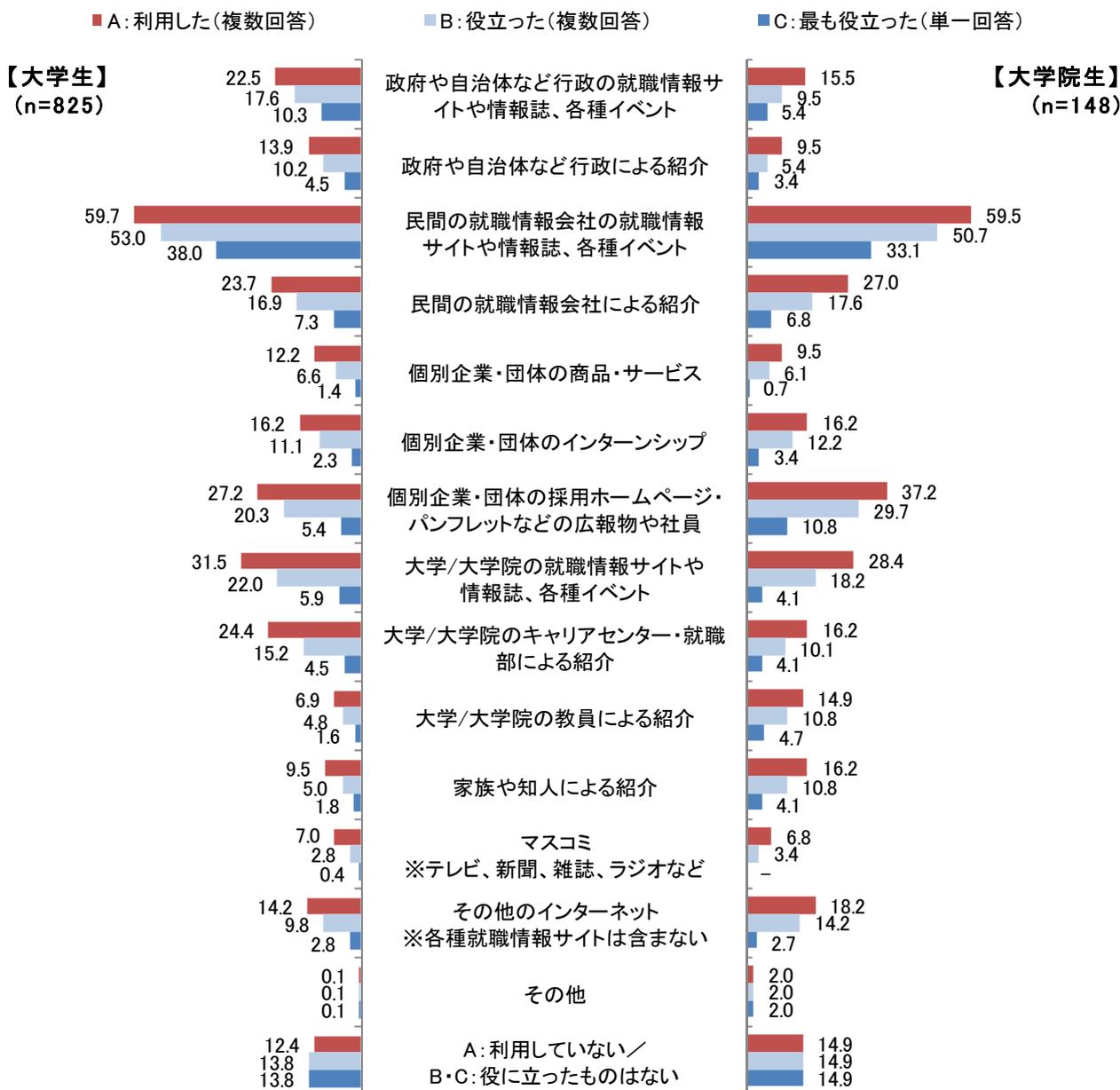


⑨プレントリー対象、一次選考応募対象、最終的な就職先を選ぶときの情報源は、いずれも民間の就職情報会社がトップで、個別企業の採用広報物や社員、大学が続く。

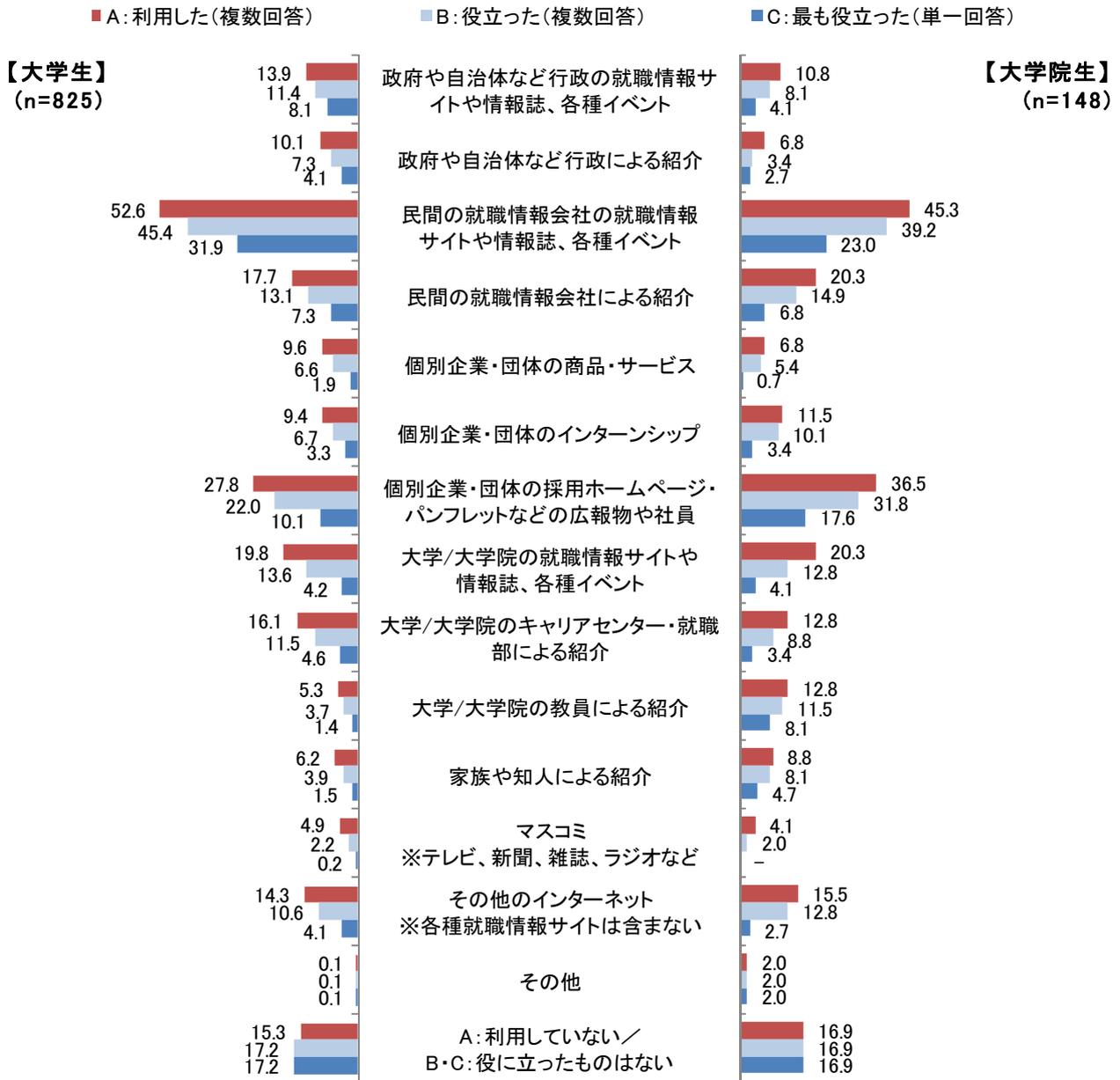
[プレントリー][一次選考応募][最終的な就職先]をそれぞれ選ぶときの情報源は、大学生、大学院生ともに「民間の就職情報会社の就職情報サイトや情報誌、各種イベント」がトップで、「個別企業・団体の採用ホームページ・パンフレットなどの広報物や社員」「大学/大学院の就職情報サイトや情報誌、各種イベント」などが続く。(図表19-1～3)

最終的な就職先の認知経路は、大学生、大学院生ともに「民間の就職情報会社の就職情報サイトや情報誌、各種イベント」がトップとなっている。属性別にみると、国立大学の理系大学生で「政府や自治体など行政の就職情報サイトや情報誌、各種イベント」「就職予定先企業・団体のインターンシップ」からの認知も多い。(図表20)

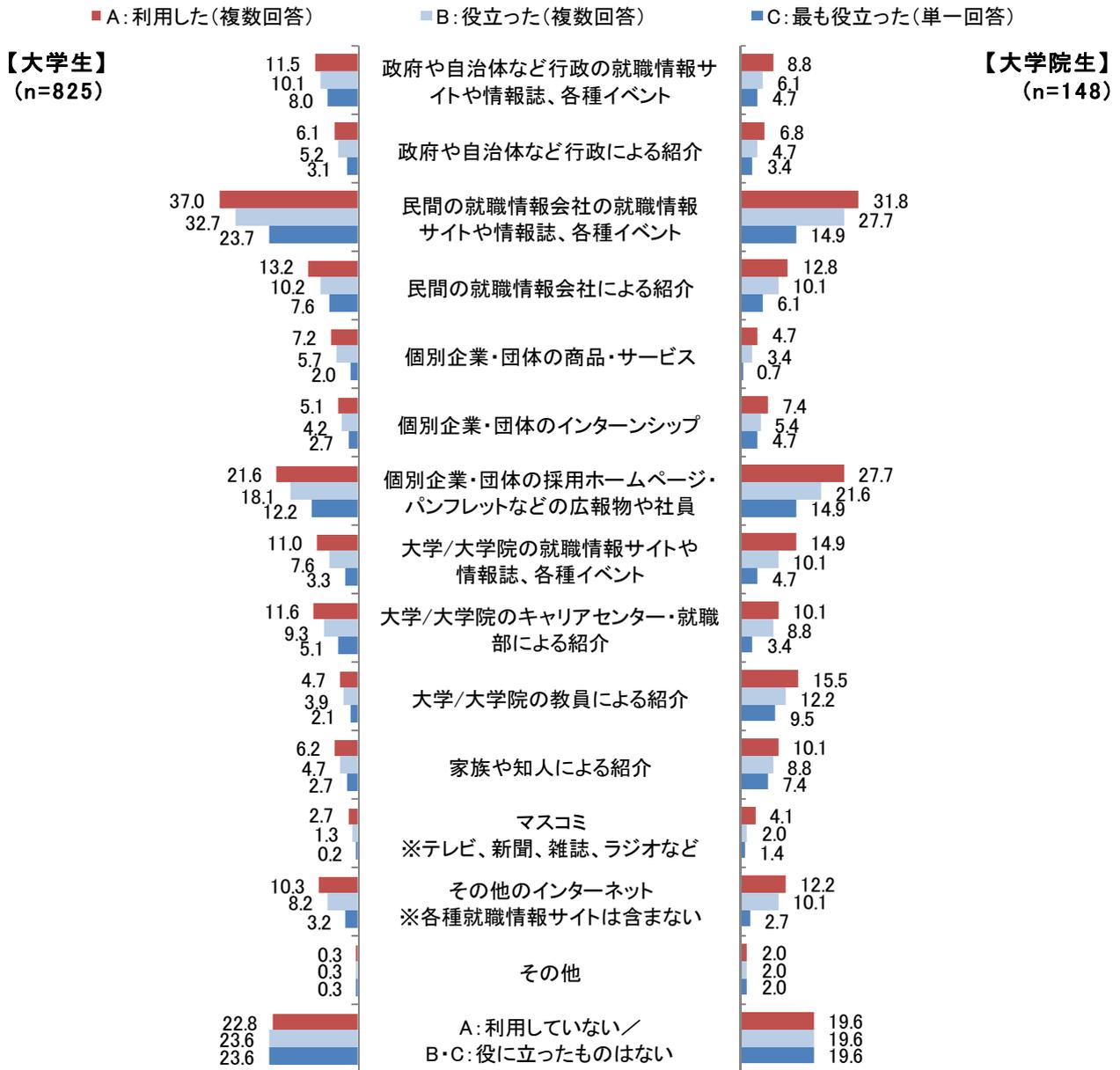
図表19-1 プレントリー(資料・採用情報の請求)する対象を選ぶ時の情報源(単位=%)



図表19-2 一次選考に応募する対象を選ぶ時の情報源(単位=%)



図表19-3 最終的な就職先を選ぶときの情報源(単位=%)



図表20 最終的な就職先の認知経路(複数回答、単位=%)

	n=	政府や自治体など行政の就職情報サイトや情報誌、各種イベント	政府や自治体など行政による紹介	民間の就職情報会社の就職情報サイトや情報誌、各種イベント	民間の就職情報会社による紹介	就職予定先企業・団体の商品・サービス	就職予定先企業・団体のインターンシップ	就職予定先企業・団体の採用HP・パンフレットなどの広報物や社員	大学/大学院の就職情報サイトや情報誌、各種イベント	大学/大学院のキャリアセンター・就職部による紹介	大学/大学院の教員による紹介	家族や知人による紹介	マスコミ	その他のインターネット	その他	わからない/覚えていない
大学生	669	10.4	5.2	47.1	15.1	6.4	6.2	15.1	20.7	16.0	5.5	9.1	4.4	4.0	2.4	3.7
文系・国公立	30	9.4	4.9	43.1	17.6	3.0	1.5	13.6	19.1	9.4	3.4	6.4	6.7	8.2	3.4	9.4
文系・私立	439	9.7	4.4	49.3	15.1	7.1	3.6	16.5	18.7	16.1	4.4	10.6	5.3	2.8	1.9	3.2
理系・国公立	31	13.6	27.1	40.0	13.6	-	20.0	-	27.1	20.0	6.4	6.4	-	-	6.4	-
理系・私立	169	11.6	3.5	43.5	15.1	6.5	11.1	14.6	25.0	15.9	8.6	6.4	2.4	7.1	2.9	4.8
大学院生	121	6.6	5.0	38.8	13.2	6.6	5.0	12.4	14.9	13.2	15.7	14.0	8.3	3.3	5.8	5.0

* 属性ごとに選択率が上位の3項目を太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い黄色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い黄色□、10ポイント以上低いセルを濃い水色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い水色□で網掛けした。